

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 障害者福祉推進課

担当名: 社会参加推進・芸術文化担当

内線: 3312

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B47	埼玉バリアフリー文化プログラム事業			一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	障害者芸術・文化活動推進費	
事業期間	平成29年度～ 令和 2年度	根拠法令	障害者基本法第25条 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律第5条			宣言項目	11	オリンピック・パラリンピックなどを契機とした地域の活性化	
					分野施策	030730	障害者の自立・生活支援		
1 事業概要			5 事業説明						
<p>オリンピック・パラリンピックの機運を醸成し、パラリンピックレガシーとして障害者に対する「心のバリアフリー」の浸透を図るため、障害者アートの魅力を活かした質の高いイベントを開催する。</p> <p>(1) 埼玉バリアフリー文化プログラム事業 ア ハンドルズダンス公演 公演中止による減 △7,904千円</p>			<p>(1) 事業内容 ア ハンドルズダンス公演 近藤良平氏演出・振付による障害者ダンスチーム「ハンドルズ」の公演を開催する。 イ 障害者芸術文化活動普及支援事業 県内障害者芸術文化活動を支援する団体・法人を対象に補助事業を行う。</p> <p>(2) 事業計画 ア ハンドルズダンス公演 文化の祭典でもある東京2020オリンピック・パラリンピックの開催年に相応しい公演とすべく、2017～2019年度のハンドルズ県外公演で共演した金沢、静岡、千葉の3県の障害者ダンスチームを招聘するなど拡充・発展させた公演を開催する。 イ 障害者芸術文化活動普及支援事業 県内障害者芸術文化活動を支援する拠点「埼玉県障害者芸術文化活動支援センター」を設置し、相談支援、人材育成、ネットワークづくり、発表の機会の創出等を行う団体・法人に補助を行う。</p> <p>(3) 事業効果 ・ 県の先進的な障害者アートの取組を文化プログラムとして県内外に発信することにより、障害者アートに注目が集まり、それを契機として障害者への理解が深まり、パラリンピックレガシーとして障害者に対する「心のバリアフリー」が広がる。 ・ より多くの県民に障害者アートに触れる機会を創り出すことができる。同時に、多くの障害者が芸術文化活動に参加する機会を拡大することができる。 ・ 県内障害者芸術文化活動の支援体制を民間主導により確立することで、障害者が芸術文化を享受し、多様な活動を行うことができるようになる。</p> <p>(4) 県民・民間活力・職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 各事業ごとに、民間企業、障害者福祉施設等と連携・協力し事業を実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する観点から、ハンドルズダンス公演を中止したことによる減額</p>						
2 事業主体及び負担区分									
ア (国1/2、県1/2)									
イ (国1/2、県1/2)									
3 地方財政措置の状況									
なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員									
9,500千円×1.2人=11,400千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金	諸収入						
決定額	△7,904	△3,477	△950					△3,477	8,960
現計額	16,864	7,957	950					7,957	